

アジア史研究Ⅱ

2単位 (選択) 2年 (後期)
荒武 達朗・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】台湾史についての基礎知識を学ぶ。

【授業概要】台湾は独特の歴史を有し、特徴的な社会を形成している。中国との共通点と差異点は何か。歴史的側面から考察を深める。

【キーワード】台湾社会

【先行科目】『近現代世界の成立と展開』(1.0), 『歴史と文化/20世紀前半の中国』(1.0), 『歴史と文化/20世紀後半の中国』(1.0)

【関連科目】『地域交流史』(0.5)

【履修上の注意】中国史について、あるいは台湾史や台湾社会について全く勉強したことがない学生も、分かって、理解しようという熱意がある限り、受講できる。授業中の睡眠や携帯電話の使用は一切認めない。

【到達目標】台湾社会に対する理解を深める。

【授業計画】

1. 有史以前の台湾
2. 歴史への登場
3. 大航海時代と台湾 16世紀
4. 鄭成功の評価 民族英雄か果たして?
5. 漢民族移民の増加
6. 伝統的東アジアの国際秩序と近代
7. 日清戦争と日本による台湾領有
8. 日本統治時代の功罪 揺れ動く評価
9. 第二次世界大戦後の台湾 中国による接収 「イヌが去ってブタが来た」
10. 白色テロルの時代
11. 民主化運動
12. 台湾と大陸

【成績評価】授業態度は評価の前提である。授業態度が良好と認められた学生に対しては、期末試験で評価を行う。

【再試験】なし。

【教科書】おって指示。

【参考書】おって指示。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218340>

【連絡先】

⇒ 荒武 (2312, 088-656-7148, aratake@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: コマ目の前が望ましい。)